

高知幡多けんみん病院 臨床研究フェローシップ

高知県西部にある県立幡多けんみん病院で地域医療に貢献しながら、臨床研究を学び・実践する3年間のプログラムです。結果は、論文として英文雑誌への採択を目標とします。

2020年の開始を目指し高知県のサポートのもと、現在高知大学で準備を進めています。

幡多けんみん病院は、高知県宿毛市にある355床を有する地域の中核病院で、内科は内科、消化器内科、循環器内科で構成されています。

フェローは、内科医として、平日週4日および休日夜間の日当直で、これまで培ってきた臨床能力で地域に貢献していただきます。臨床現場の最前線から生まれてくる切実な臨床的課題(クリニカルクエスト)を研究テーマとして、週1日のプロテクトされた研究時間で、研究として解決可能な形に構造化し、研究をデザインし、実施します。研究面は、大学院生の指導実績豊富な現地メンターが、綿密に進捗を管理し、サポートします。また、高度な解析手法や専門的な知識については、京都大学の専任メンターが、定期的に補完してサポートします。フェローは、オンラインでの臨床研究学習プログラムや大学院進学の経済的支援を受けることも可能です。

臨床面では、希望があれば、リウマチ膠原病診療や僻地診療などの専門診療のスキルアップをサポートします。